

社会人基礎力協議会News



第12号 2023年4月21日発行

1 2022年度 社会人基礎力育成グランプリ全国決勝大会開催

グランプリ委員会

「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」は、大学等での社会人基礎力の育成に関して大きく成長をとげた学生らの表彰を通じて、各大学の効果的な取り組み事例を広く多くの方々に周知する趣旨で開催しています。2022年度のグランプリは、今年も協賛企業の皆様、各大学等関係者の皆様のご協力を得て、日本商工会議所および公益社団法人経済同友会のご後援、オブザーバーに経済産業省を迎えて開催しました。今年度は今まで以上に、社会人基礎力の成長要因などについて振り返っていただくプレゼンテーションを重視しました。全国から総数25チームがエントリーし、2月に開催した6地区の予選大会で最優秀賞を選出。3月15日には各地区最優秀チーム6チームが集い、全国決勝大会を開催しました。本年度のグランプリは、福山大学のチームでした。チームメンバーには昨年度の全国大会に出場したものの賞を逃した経験者もあり、本年度のグランプリ達成の喜びは一層大きなものでした。

開催概要

日時・場所： 2022年3月15日(水) 13:00～17:40 オンライン開催 (WebexミーティングおよびYouTubeライブ配信)
 審査員長： 実践女子大学 文学部 国文学科 教授 深澤 晶久氏
 審査員： 株式会社ウチダ人材開発センタ 常務取締役 金子 栄司氏
 株式会社学研ホールディングス 広報室長 倉田 菜生子氏
 経済産業省 経済産業政策局 産業人材課 課長補佐 中山 一馬氏
 株式会社日経HR コンテンツ事業本部長 渡辺 茂晃氏 (以上、審査員は50音順)

出場チーム・発表テーマ・全国大会結果

地区	学校名	テーマ名	大会結果
北海道	北星学園大学	異文化間チームビルディングのためのマレーシア企業との協働イベント「Global Fireside Chat」	準大賞
東北・関東	拓殖大学	留学生と医療の架け橋に	
中部	拓殖大学	日本酒魅力向上委員会 ～お酒好きの私たちが日本酒の魅力伝える挑戦～	
近畿	大阪経済大学	収穫と選果の手作業を支援するアプリ「Sortable」	準大賞
中国・四国	福山大学	地域資源活用ビジネス「REBORN SAUNA」 ～新たな地域課題解決の糸口へ～	大賞 協賛企業/団体賞
九州・沖縄	大阪経済大学	行動把握によるインタラクティブなデジタルサイネージ「Act-is」	



- ①社会人基礎力大賞 福山大学
- ②社会人基礎力準大賞 北星学園大学
- ③社会人基礎力準大賞 大阪経済大学 (近畿代表)

全国決勝大会動画 https://biz100.org/gp2021_movie
 上記からお申しただくと動画を閲覧いただけます。
 (期間限定 2023年6月30日まで)

2022年度の大会運営は、2020年度、2021年度に続きオンライン開催としました。昨年度は参加チームが増える兆しがあったのですが、今年度は減少してしまいました。しかし、新しく参加する大学もあり、今年も参加チームの社会人基礎力の成長はいずれも著しいものでした。年々レベルが上がっており、今年度も例年以上に審査員を悩ます大会になりました。

社会人基礎力の「成長」と「発揮」と「成果」の見極めは難しく、振り返りと気づきがポイント

本大会は「社会人基礎力育成グランプリ」と題しており、教育の目標として「社会人基礎力の育成」を広めることが根底にあります。そこで大学等での取り組みにおいて学生らの社会人基礎力が著しく成長した事例の発表を募集し、その取り組みを表彰しています。難しいのは成長の評価に適したプレゼンテーションです。応募要項では、「単に社会人基礎力が伸びた」という発表にならず、成長のエピソードなどを具体的に発表することをお願いしています。この難しさに関して、当委員会では常に見直しを行っています。今年度は審査基準を変えました。「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」が“どれだけ成長したか”という従来の基準に加えて、“どのように成長したか”を追加しました。成長の要因などを含めたプロセスを評価することをより明確にしました。

社会人基礎力は「社会で活躍するために必要な力」であり、成果を出す力ともいわれています。まず活動の成果があり、その成果に至る社会人基礎力の発揮があるといえます。その社会人基礎力がどのように身についたか、成長したかが評価のポイントです。これらのプレゼンテーションが難しいのは、成果は対外的に分かりやすいが、成長は気づきにくい内面的な変化であることに理由がありそうです。この難問に向き合うには、「振り返り」と「気づき」大切ではないでしょうか。自らの成長要因が何であったのか、それを意識することができれば、さらなる成長につながるのではないのでしょうか。それを促す大学等での取り組みはどのようなものか、本大会を通して明らかにし、みなさんと共有していきたいと考えています。

オンライン開催で参加者やすく、予選参加チーム数の平準化が可能になったその一方で・・・

オンライン開催以後、これまで出場のなかった大学等からの参加が増え、オンラインの良い影響と考えています。一方で審査員からは、学生たちの熱量を対面で是非感じて評価したいという意見をいただいています。ほかにも悩ましい課題が出てきました。

2022年度 応募	2022年度 実施
北海道 3チーム	北海道 4チーム
東北・関東 6チーム	東北・関東 4チーム
中部 3チーム	中部 4チーム
近畿 6チーム	近畿 5チーム
中国・四国 5チーム	中国・四国 4チーム
九州・沖縄 2チーム	九州・沖縄 4チーム

調整移動

6 異なる地区での開催を基本とし、応募地区から移動していただく

平準化予選 vs 地区代表予選

本大会はグランプリの決定という競技性があり、地区予選大会毎にチーム数の差が大きいと不公平感につながります。2020年度大会は応募数0の地区もあり、複数の地区で予選大会をリモートで合同開催する対応をしました。2021年度からは、予選地区で応募が1チームでもあれば、その地区で開催することを基本とし、全体の応募数をみて調整し、応募の多い地区から少ない地区へ移動していただきました。予選大会の参加チーム数は公平になった一方で、他地区の優勝チームが出ると、“予選大会は地区の代表”という性格が希薄になると指摘されました。さらに一部の地区で参加が多いほど、他の地区へ移動をお願いすることが多くなり、気持ちの整理がつかないとの意見も出ました。この声を受け止め、今後、参加チームの意欲を大切にしたい大会運営を考えていきたいと思います。



北海道地区



中部地区



中国・四国地区



近畿地区



九州・沖縄地区



東北・関東地区

リカレント委員会では、秋以降も定期的にフォーラム&勉強会を開催して社会人基礎力への理解促進、普及に努めています。12月および2月に開催したフォーラム（オンライン開催）についてご紹介します。今後も2か月に1回程度のペースで開催してまいりますので、皆様奮ってご参加ください。

12月フォーラム

2022年12月17日（土）10:00～12:00

「社会人基礎力としてのEQのいかし方」

講師：株式会社アイズプラス 代表取締役 池照佳代氏

プログラム

- ① 主催者挨拶・参加者紹介
- ② 講演「社会人基礎力としてのEQのいかし方」
- ③ ブレイクアウトセッション：グループに分かれて意見交換

講演主旨

社会人基礎力とEQ（Emotional Intelligence Quotient 感情知性）には大きな関係性があると考えている。自己認識、自己統制・行動選択、自己方向付けの中で日本に不足している点は、自己認識と自己方向付けであるとする。人生100年時代における社会人基礎力は職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な力であり、EQは自他を知り、活かし、ありがたい姿に向けて心豊かに生きるために感情を活かす力である。この社会人基礎力とEQの掛け合わせが心豊かに生きる力のOSになるのではないかと。



＜フォーラムの様子＞

2月フォーラム

2023年2月18日（土）10:00～12:00

「パラレルワーク/パラレルキャリアからハイブリッド起業家へ」

講師：株式会社日越ビジネスエコシステム 代表取締役 根岸正実氏

プログラム

- ① 主催者挨拶・参加者紹介
- ② 講演「パラレルワーク/パラレルキャリアからハイブリッド起業家へ 脱一般論」による凡人向けセルフマネジメント」
- ③ ブレイクアウトセッション：グループに分かれて意見交換

講演主旨

プレミアム凡人となるためには各年代でのポイントがある。20代は「守」-会社・社会の一般論・一般社会ルールを徹底的に学ぶ、そのうえで一般論や一般社会ルールとは真逆の対応をする、30代は「破」-会社・社会の一般論・一般社会ルールを理解した上で崩す、再構築の時代を楽しむ。40代以降は「離」-還元（感謝）の視点で一般論・一般社会ルールを新たに創る。プレミアム凡人は天才を理解し、秀才・優等生を活かすことができる。パラレルワーク/パラレルキャリアからハイブリッド起業家への道は、非凡（天才・変人・秀才）に勝るプレミアム凡人になることから導かれた。
(委員長 渡邊明男)



＜フォーラムの様子＞

4 2022年度 リカレント委員会活動報告

2022年度を振り返って

昨年度に引き続きオンライン開催による5回の勉強会（フォーラム）と年次大会を開催しました。参加者も多様化し各回とも盛況な勉強会となりました。初回の香川憲昭氏の講演では、ESG投資と今後日本企業に必須となるであろう「人的資本開示」による人材開発の未来思考を豊富なデータを示し講演いただきました。横澤氏、榎並氏は50代になってから大学院に入るなどのリカレント教育の実践者であり、学び直しを経て更に活躍の場を広げられています。また池照氏も同様にリカレント実践者であり、EQと社会人基礎力の関係性に着目した講演をしてくださいました。最後の根岸氏はパラレルワーカーを超えてハイブリッド起業家として国内外に活躍の場を展開している方で非常にユニークな着眼点からの講演が大変印象に残りました。

フォーラム各回の主なテーマと講演者

- 第1回 「ESG投資と『人的資本の開示』が拓く人材開発の未来」
香川憲昭氏（一般社団法人HRテクノロジーコンソーシアム代表理事）
- 第2回 「『はってよかった大学院！××さんと出会いました～』～リカレント実践者に聞く～」
横澤泰志氏（拓殖大学大学院商学研究科博士後期課程）
- 第3回 「待たなしのミドル・シニア人財活性化」榎並重人氏（株式会社OACD代表取締役）
- 第4回 「社会人基礎力としてのEQのいかし方」池照佳代氏（株式会社アイズプラス代表取締役）
- 第5回 「パラレルワーク/パラレルキャリアからハイブリッド起業家へ」根岸正実氏（株式会社日越ビジネスエコシステムCEO）

2023年度に向けて

22年度は今日本が抱えている課題が多く取り上げられた講演内容でした。政府が取組む「新しい資本主義の時代」に必要な新たなアイデアやイノベーションの創出を生み出す人的資本の育成課題と同じです。リカレント委員会としては、企業が組織として従業員を大切に投資し育成していく必要性が高いと同時に、個人がリカレント教育の実践をしていくことが大切であると考えております。2023年度は、企業が組織としてどのように従業員へのリスティング等の「人的資本投資」をどのように行っているかや、経営者が自ら社会人基礎力を発揮する実践活動などの事例を紹介する講演を継続してまいります。
(委員長 渡邊明男)

2022年度を振り返って

新型コロナウイルスに惑わされた日々も過ぎ去ろうとしています。社会はWithコロナへ、そしてAIの時を迎えています。コンピュータが人間のようにふるまうAI技術のChatGPT（チャットGPT）が2022年11月に公開されました。ChatGPTは、無料で安易なPC操作であることもあり、発表からわずか5日で100万ユーザを突破しています。まるで人間が答えているかのようなふるまいをし、親しい信頼のかける友人と会話している錯覚に陥ります。このように常に新しい環境を与えられる現代人に求められる社会人としての資質能力は何なのでしょう。どのように変化していくのでしょうか。新入社員教育の在り方や、2年目、3年目の少し余裕が出て同期との差に気がつくときの教育の在り方など、社会人としての活躍の在り方が異なってくることは明らかです。このような現代において、ますます社会人基礎力の能力育成や研究は重要な論点となることは明らかです。研究委員会では2023年度も研究活動を活発に進めます。

社会人基礎力学修交流研究会



＜研究会の様子＞

このようなことから、場所と時間の使い方が仕事に大きく変わるとの声から、国や国境を越えた活動が活発になり、言語の勉強や多文化の勉強が重要となるとの結論に達していました。

来年度もあらゆる研究分野からの視点で議論できることを期待しています。

機関誌の取組みについて

2022年度の機関誌『社会人基礎力研究』は3月に第4号を発行することができました。今年度は、4本の原稿を掲載することができました。今回の原稿にある、体験型学習や事例調査等は、社会人基礎力育成においてますます重要な活動となります。キャリア教育、リカレント教育など、社会人基礎力に関連する原稿のご投稿をお待ちしております。

（委員長 栗田るみ子）

社会人基礎力学修交流研究会の議論のテーマは、「学び続けるための社会人基礎力」とし、遠隔会議システムを利用し、実施しています。今年度も、年2回の開催で、企業の方や、教育関係者、学生、大学院生等多くの方との勉強会が実施できました。

11月の研究会では、リトアニアのミコラスロメリス大学のグラジナ教授に、お話をいただきました。

「仕事はどの程度、コンピュータ化の影響を受けやすいのか」という問題を扱い、議論をしました。学生たちは、ごく身近な生活から発想し、携帯電話で情報交換が可能な社会であり、時間の使い方が変化した点をとりあげていました。



6 一般会員・学生会員・賛助会員 随時募集中

事務局

一般社団法人社会人基礎力協議会では、一般会員・学生会員（個人）、賛助会員（企業・団体）を随時募集中です。以下に概要をご紹介します。協議会活動に賛同いただける皆様のご応募をお待ちしております。詳しくは協議会HPをご参照ください。

種別	対象・会費	特典
一般会員	個人 年会費 1万円	① 機関誌『社会人基礎力研究』に投稿できる ② 機関誌（年1回）とニュースレター（年3回）の最新号および各種イベント・勉強会の案内を受け取ることができる ③ リカレント勉強会参加および発表の機会を得られる ④ 年次大会参加および発表の機会を得られる
学生会員	学生 年会費 免除 （在籍期間内）	
賛助会員A	法人・団体 年会費 20口以上（1口1万円）	
賛助会員B	法人・団体 年会費 10口以上20口未満（同）	
賛助会員C	法人・団体 年会費 1口以上10口未満（同）	① <グランプリ委員会特典> 企業広告掲載（Aのみ）、協賛企業/団体賞審査委員、学生交流会招待、協賛企業/団体一覧 ② <研究委員会特典> 広告ページ掲載（Aのみ）、論文/事例投稿、機関誌、ニュースレター（最新号） ③ <リカレント委員会特典> 当協会によるコンサルティング及び事業監修（別途有償、Aのみ）、年次大会講演（A）参加（B・C）、フォーラム/勉強会講演（A・B）事例紹介（C）



会員規則
（入会案内）

編集後記



関係者の皆様のご支援、ご協力によって、社会人基礎力育成グランプリを今年も無事開催できました。初参加の大学も複数あり、事務局一同大いに感謝しております。コロナ禍を経て、オンライン開催が定着したことから、従来の予選大会開催地から遠い大学も参加しやすくなりましたので、関係者各位からもぜひ多くの大学にエントリーをお勧めいただけたらと思います。

このNewsでは大学や企業における社会人基礎力強化に役立つ情報を取り上げていくために、会員の皆様からの事例情報を随時募集しております。記事へのご意見、取り上げて欲しいテーマのご要望などもお待ちしております。左記QRコードの協議会HP「お問合せ」フォーム、または、下記事務局メールへお気軽にご連絡ください。よろしく願い申し上げます。

（担当：研究委員会副委員長 人材開発コンサルタント 山崎 紅）